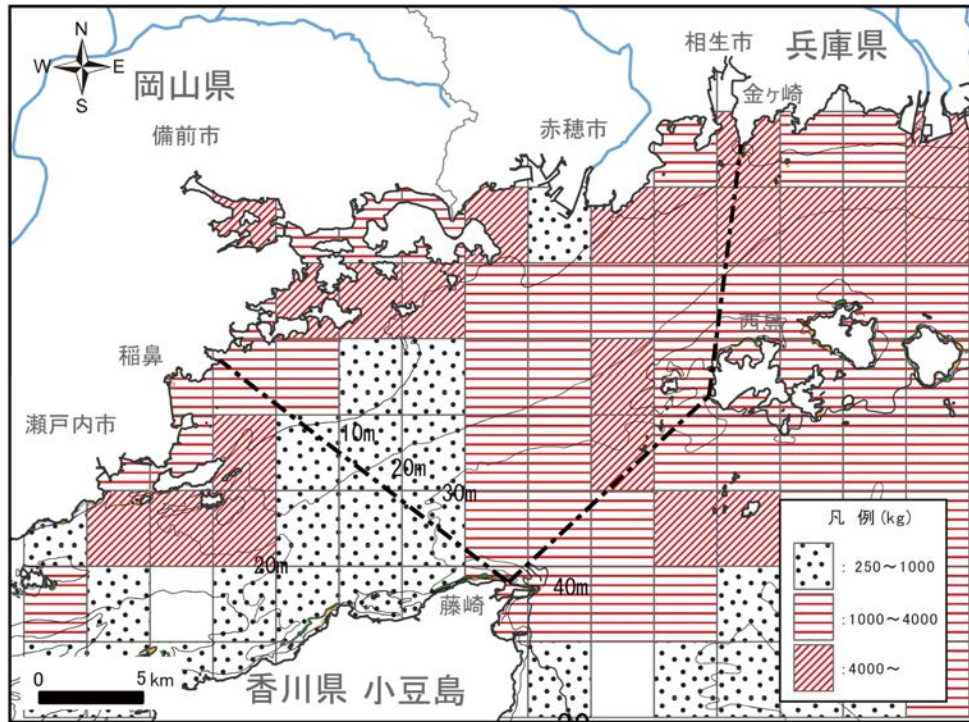


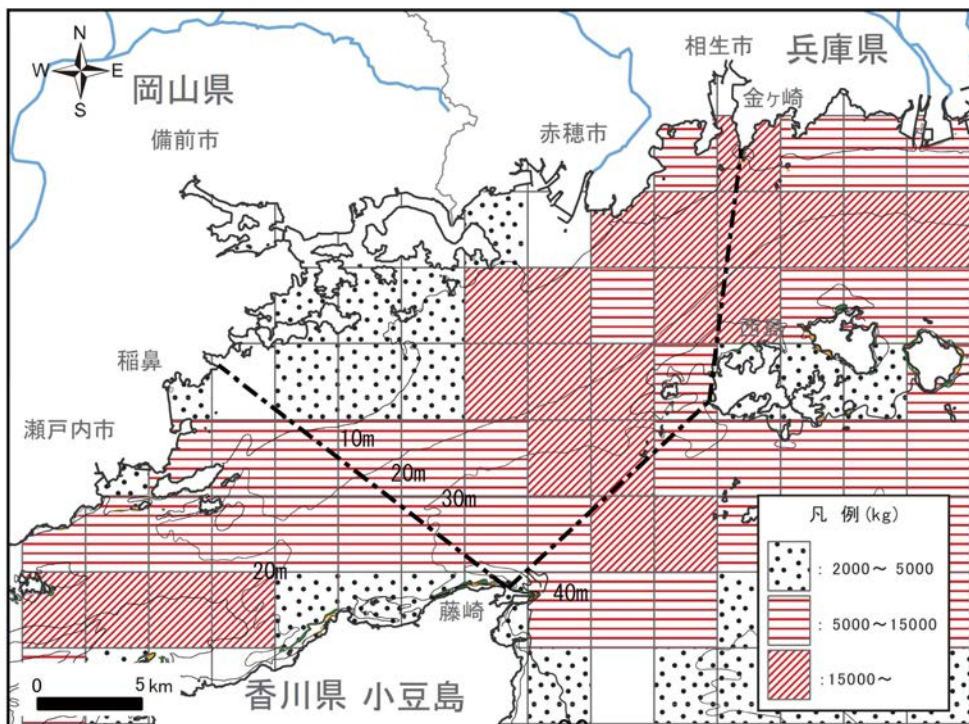
表 1.6 主要魚介類7種の漁場分布からみた干潟・藻場等の利用状況

魚 種	産卵場として利用されていると考えられる干潟・藻場等
スズキ	北西部島しょ部周辺及び兵庫県西部沿岸の藻場 (備前市・瀬戸内市・相生市)
カレイ類 (イシガレイ、マコガレイ)	中央部の浅場 (赤穂市・備前市)
ヒラメ	中央部の浅場 (赤穂市)
マダイ	当該海域内に濃密な利用水域は無い。
ガザミ	中央部の浅場 (赤穂市・備前市)
クルマエビ	北西部島しょ部周辺及び兵庫県西部沿岸の干潟 (備前市・赤穂市)



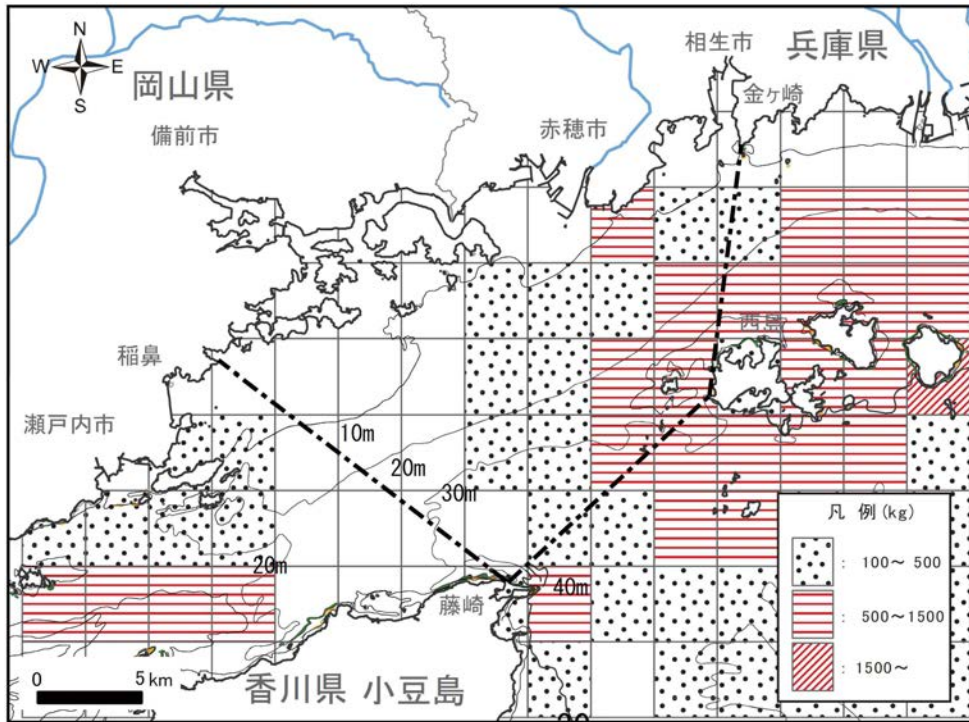
出典：水産庁：漁場環境評価メッシュ図，瀬戸内海（平成11年3月）より作成

図 1.9(1) 主要魚種の漁場分布図（スズキ）



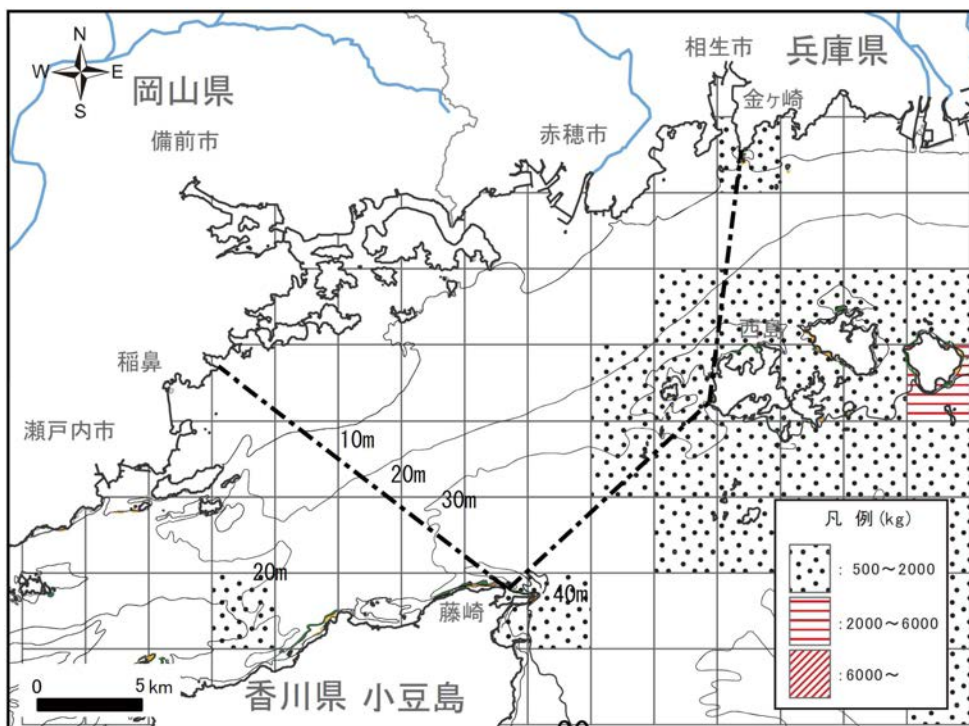
出典：水産庁：漁場環境評価メッシュ図，瀬戸内海（平成11年3月）より作成

図 1.9(2) 主要魚種の漁場分布図（カレイ類）



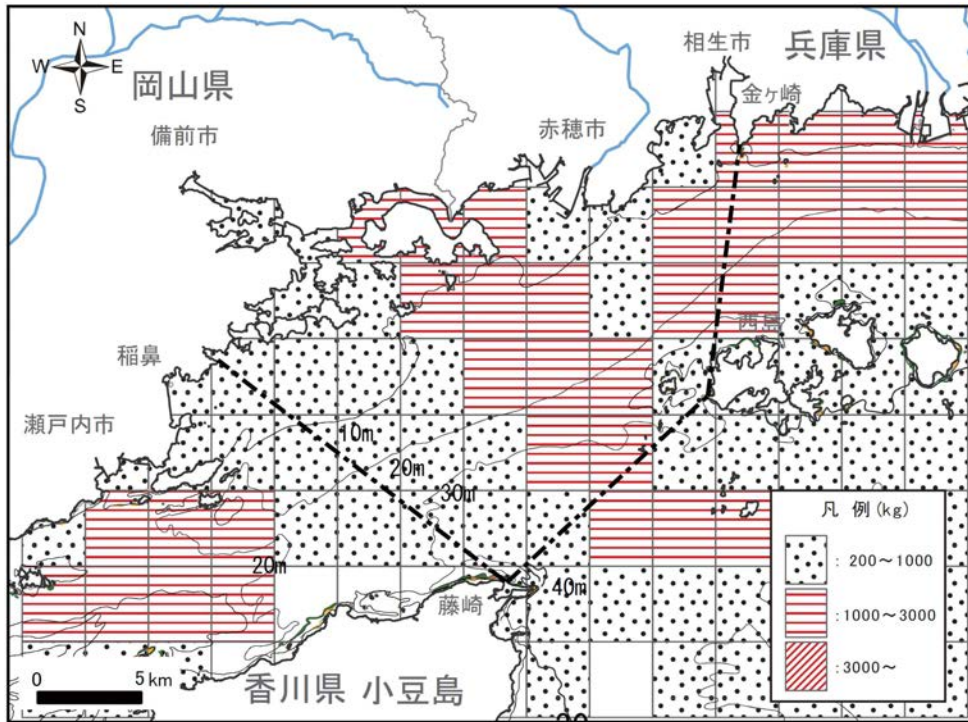
出典：水産庁：漁場環境評価メッシュ図，瀬戸内海（平成11年3月）より作成

図 1.9(3) 主要魚種の漁場分布図（ヒラメ）



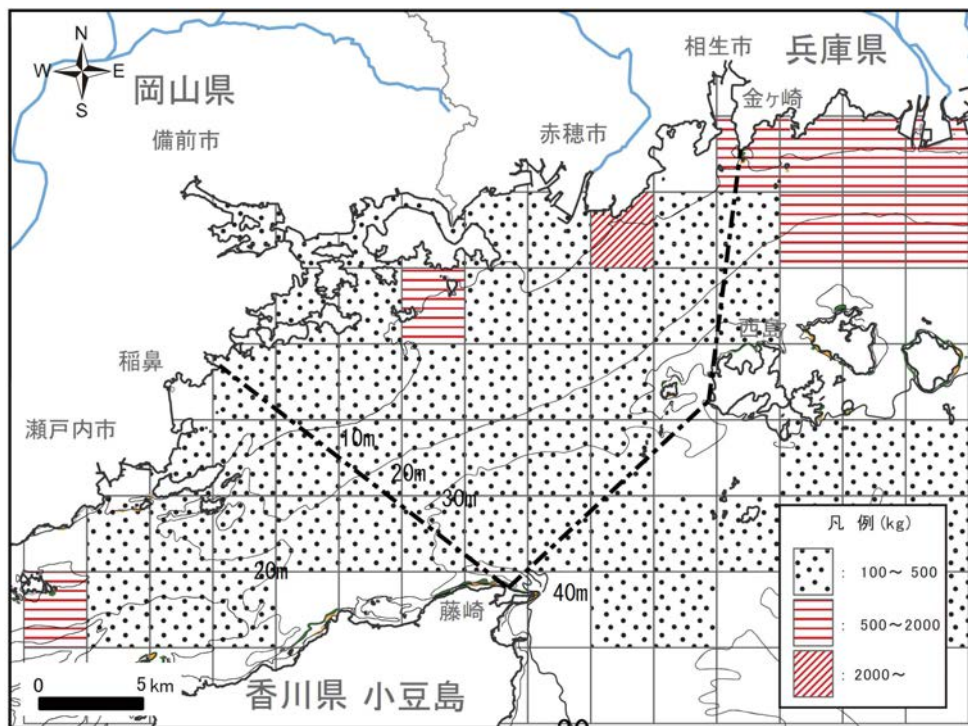
出典：水産庁：漁場環境評価メッシュ図，瀬戸内海（平成11年3月）より作成

図 1.9(4) 主要魚種の漁場分布図（マダイ）



出典：水産庁：漁場環境評価メッシュ図，瀬戸内海（平成11年3月）より作成

図 1.9(5) 主要魚種の漁場分布図（ガザミ）



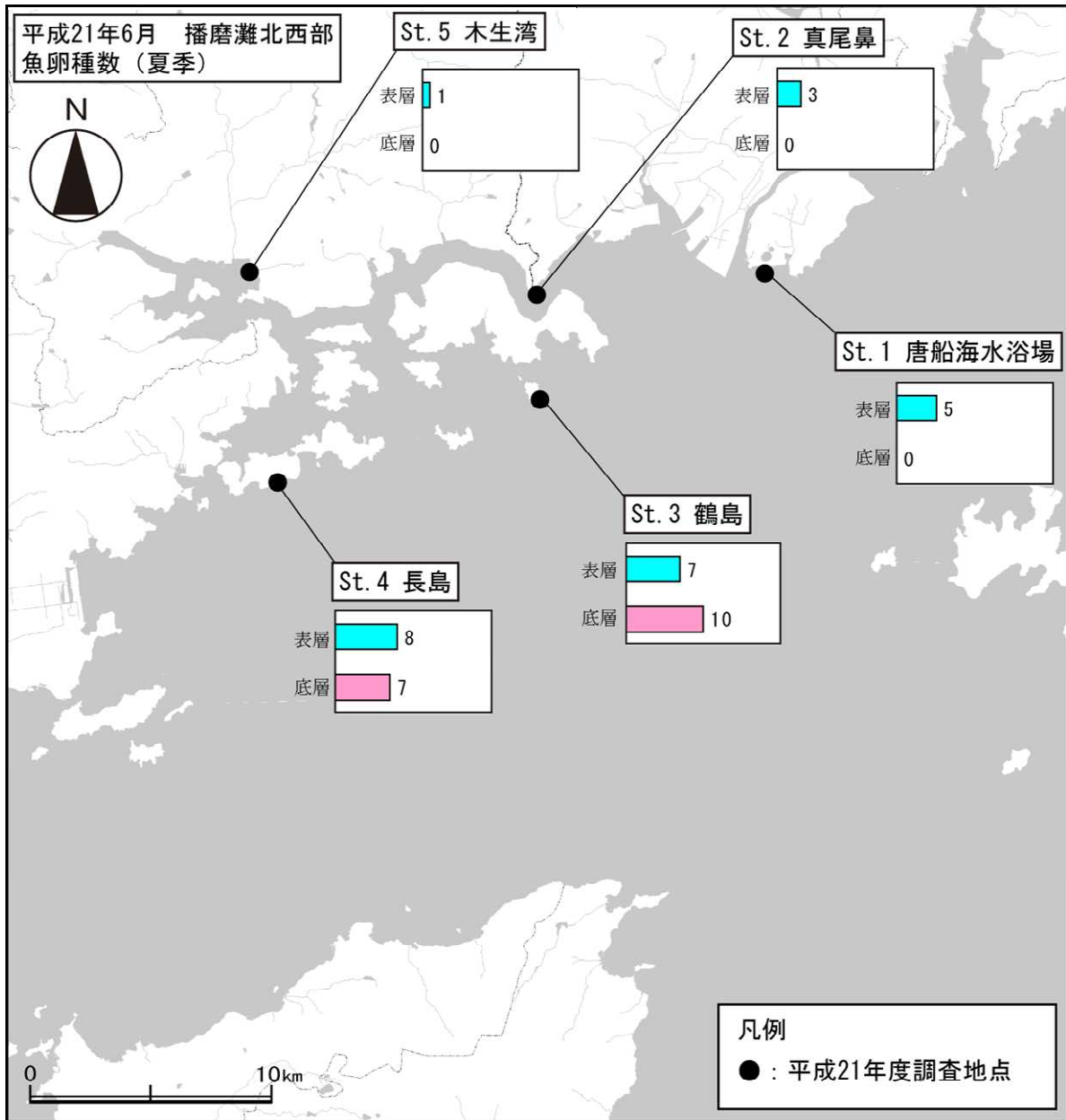
出典：水産庁：漁場環境評価メッシュ図，瀬戸内海（平成11年3月）より作成

図 1.9(6) 主要魚種の漁場分布図（クルマエビ）

表 1.7 主要魚種の産卵場及び生育場について

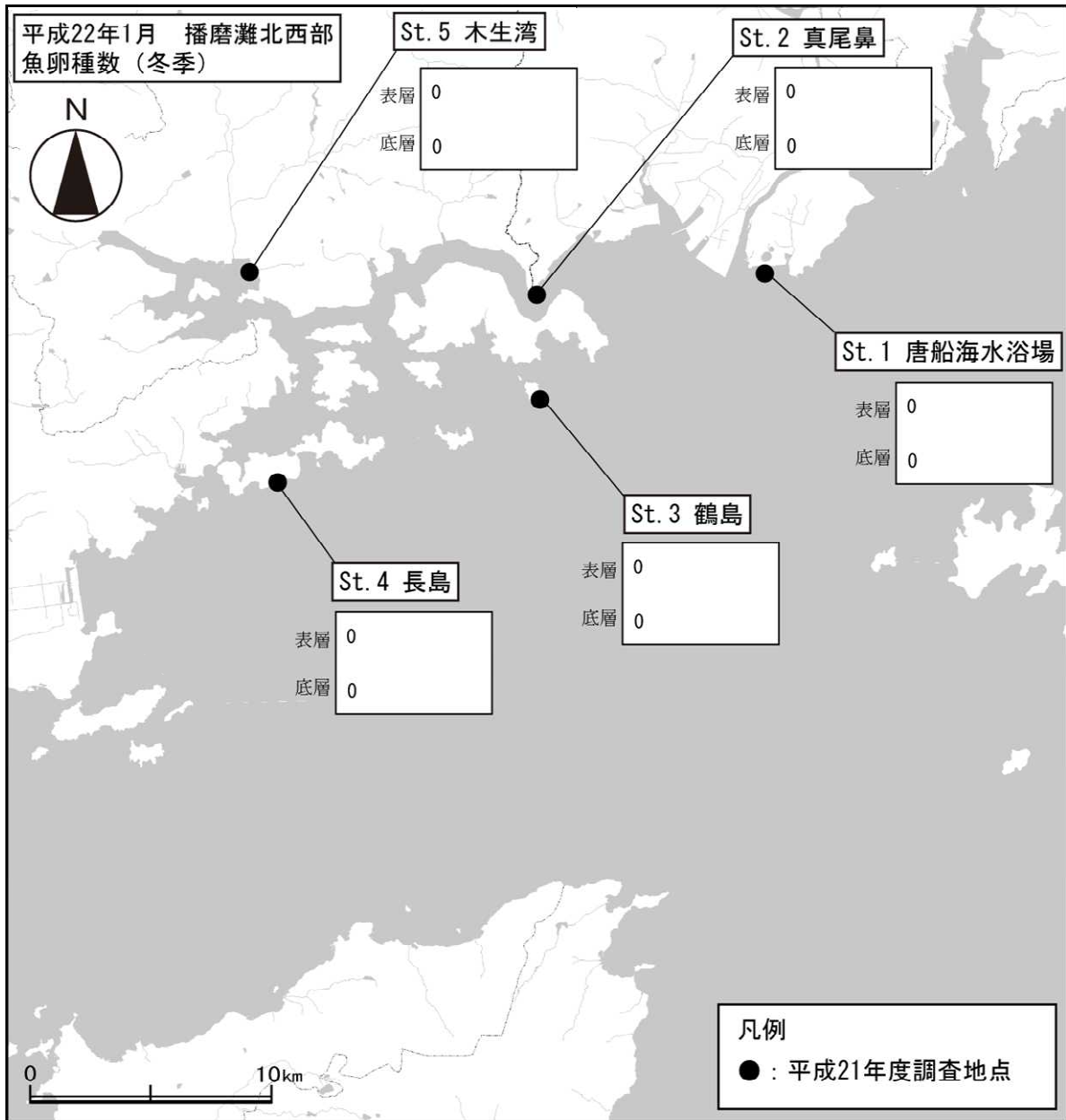
主要魚種名	内 容
スズキ	卵は未確認。スズキ及びスズキを含む可能性のあるスズキ属の稚仔魚は北西部と沿岸部において確認された。播磨灘北西部にはスズキの産卵に適した場所は存在しないとされ、生育場は北西部の藻場や干潟、沿岸部の浅場とされている。稚仔魚の確認状況から、北西部の藻場や沿岸部の浅場を生育場としている可能性が高い。
イシガレイ	卵は未確認。稚仔魚は北西部と沿岸部において確認された。播磨灘北西部の産卵場は東部～南部を除く水深 30m以浅の全域であり、生育場は北西部の干潟や沿岸部の浅場とされている。卵は確認されなかったが、孵化直後の仔魚が確認されていることから、北西部の藻場を産卵場及び生育場としている可能性が高い。また、この他に稚魚が確認された沿岸部の浅場も生育場をしていると考えられる。
マコガレイ	卵は未確認。稚仔魚は北西部と沿岸部において確認された。播磨灘北西部の産卵場は東部～南部を除く水深 10m以浅の全域であり、生育場は北西部の干潟や沿岸部の浅場とされている。卵は確認されなかったが、孵化直後の仔魚が確認されていることから、北西部の藻場や浅場を産卵場及び生育場としている可能性が高い。
ヒラメ	ヒラメ卵を含む可能性のある単脂球形卵5と稚魚が北西部において確認された。播磨灘北西部の産卵場は東部～南部を除く水深 10m以浅の全域であり、生育場は北西部の干潟や沿岸部の浅場とされている。卵や稚魚の確認状況から、北西部の藻場や干潟を産卵場及び生育場としている可能性が高い。
マダイ	マダイ卵を含む可能性のある単脂球形卵4が北西部と沿岸部において確認された。稚仔魚は未確認であった。播磨灘北西部にはマダイの産卵に適した場所は存在しないとされ、生育場は北西部のアマモ場や沿岸部の浅場とされている。今回確認された卵は播磨灘北西部周辺の海域から潮流によって移動してきた可能性が高い。稚仔魚は確認されなかったが、北西部や沿岸部の藻場や浅場を生育場としている可能性がある。
ガザミ	卵は未確認であった。稚ガニは北西部の干潟と沿岸部の浅場において確認された。播磨灘北西部での産卵場は北西部や沿岸部の水深 10m以浅の河口や砂泥域であり、産卵場付近の砂泥域が生育場とされている。稚ガニの確認状況から北西部と沿岸部の干潟や河口付近を産卵場や生育場としている可能性が高い。
クルマエビ	卵は未確認であった。稚エビは北西部の干潟において確認された。播磨灘北西部での産卵場は水深 10m以浅の浅場で産卵し、水深 25m以浅の浅場や干潟が生育場とされている。稚エビの確認状況から北西部の干潟を産卵場や生育場としている可能性が高い。

出典：「平成 21 年度水生生物類型あてはめに係る生物生息状況調査業務 報告書」により作成



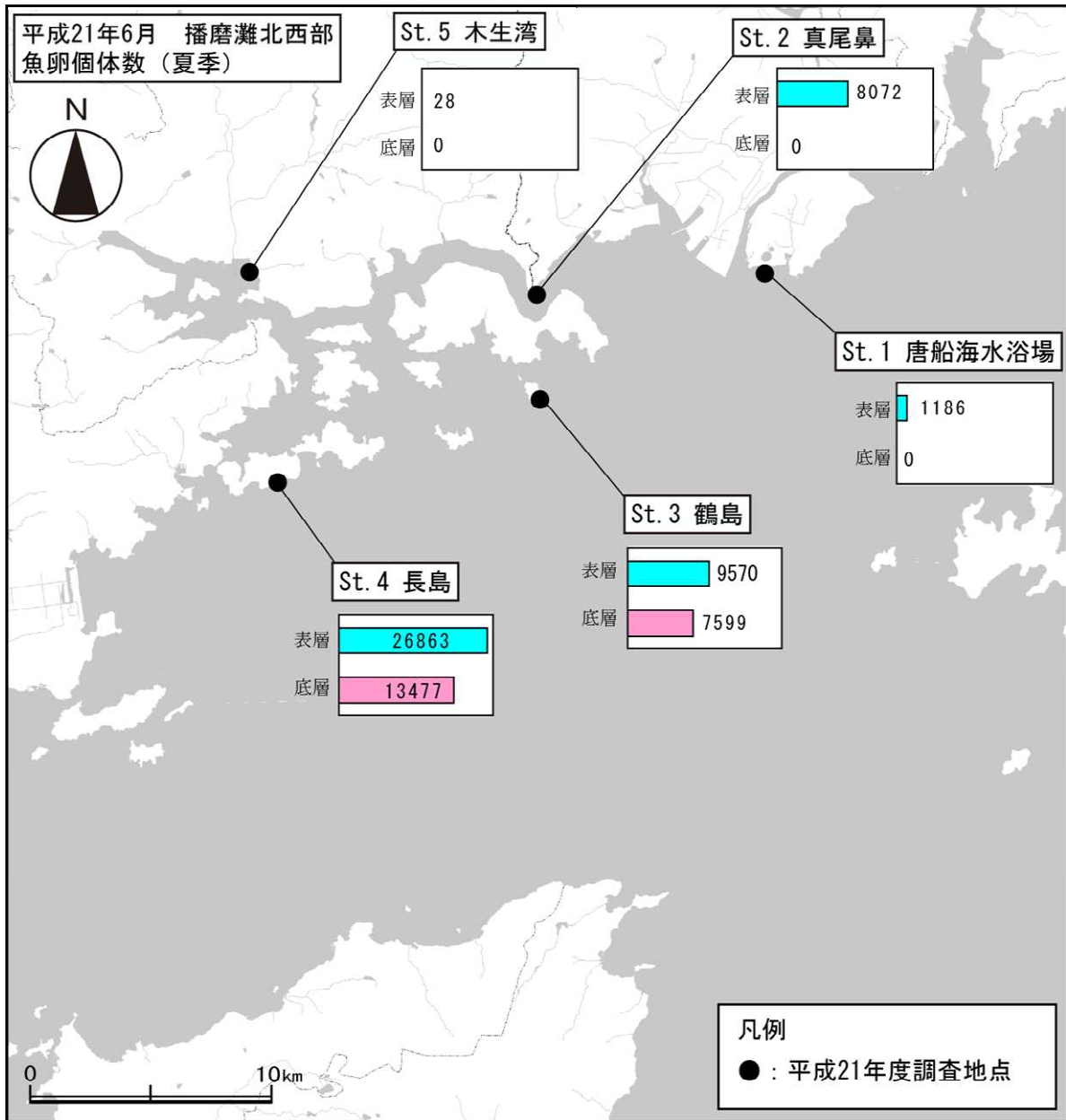
出典：「平成21年度水生生物類型あてはめに係る生物生息状況調査業務 報告書」により作成

図 1.10(1) 魚卵種数の出現状況 (夏季)



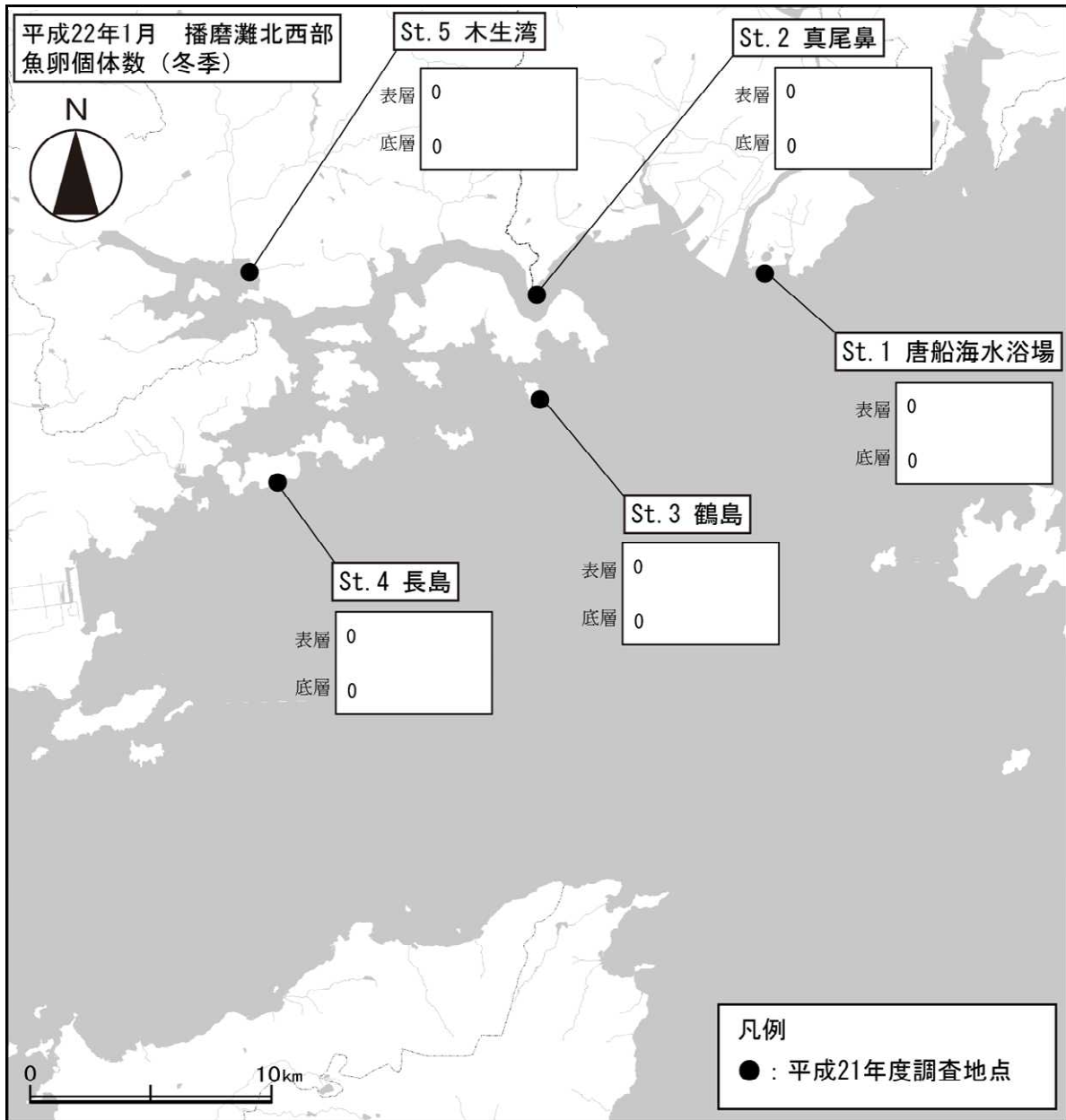
出典：「平成21年度水生生物類型あてはめに係る生物生息状況調査業務 報告書」により作成

図 1.10 (2) 魚卵種数の出現状況 (冬季)



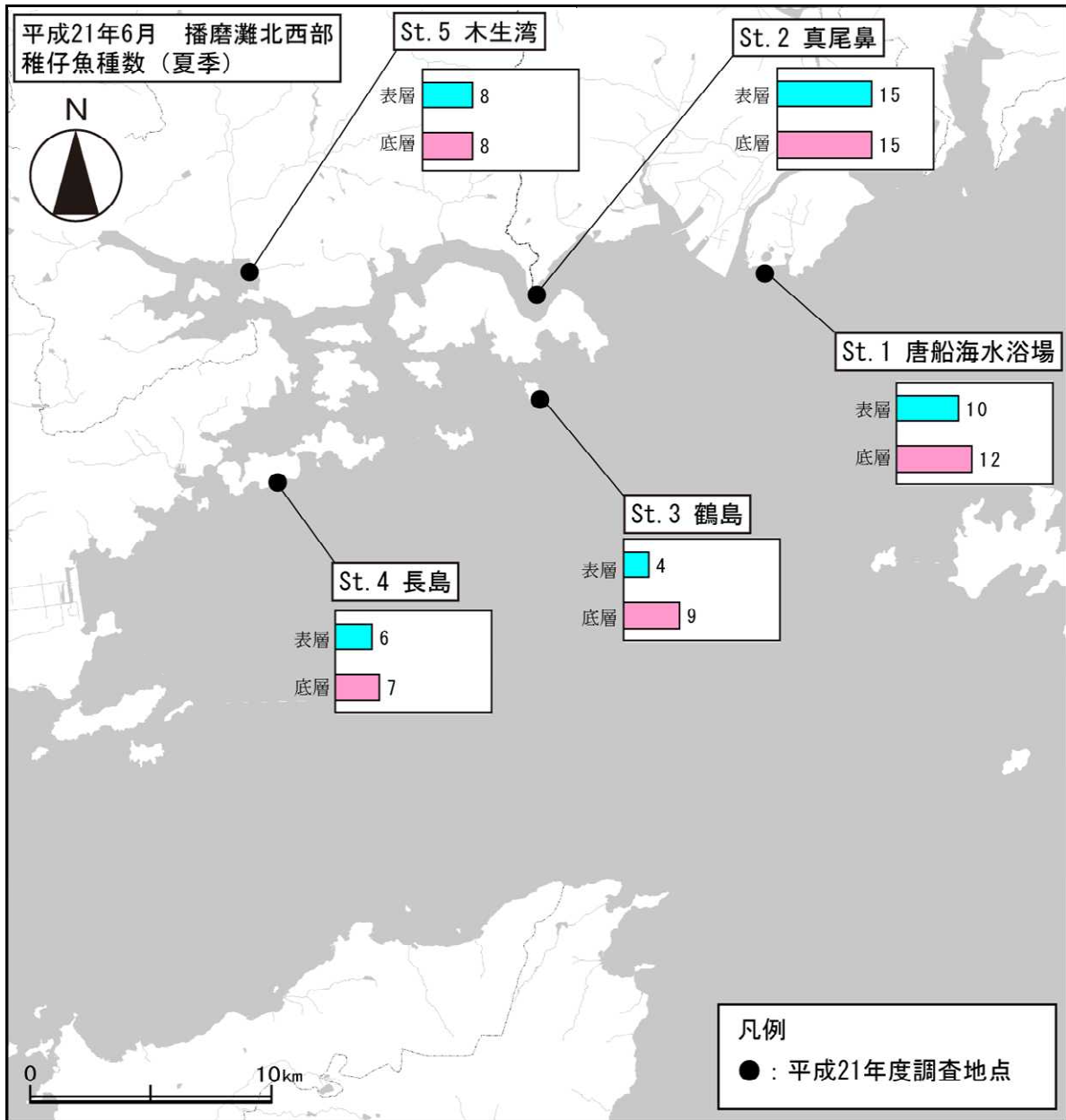
出典：「平成21年度水生生物類型あてはめに係る生物生息状況調査業務 報告書」により作成

図 1.10(3) 魚卵個体数の出現状況 (夏季)



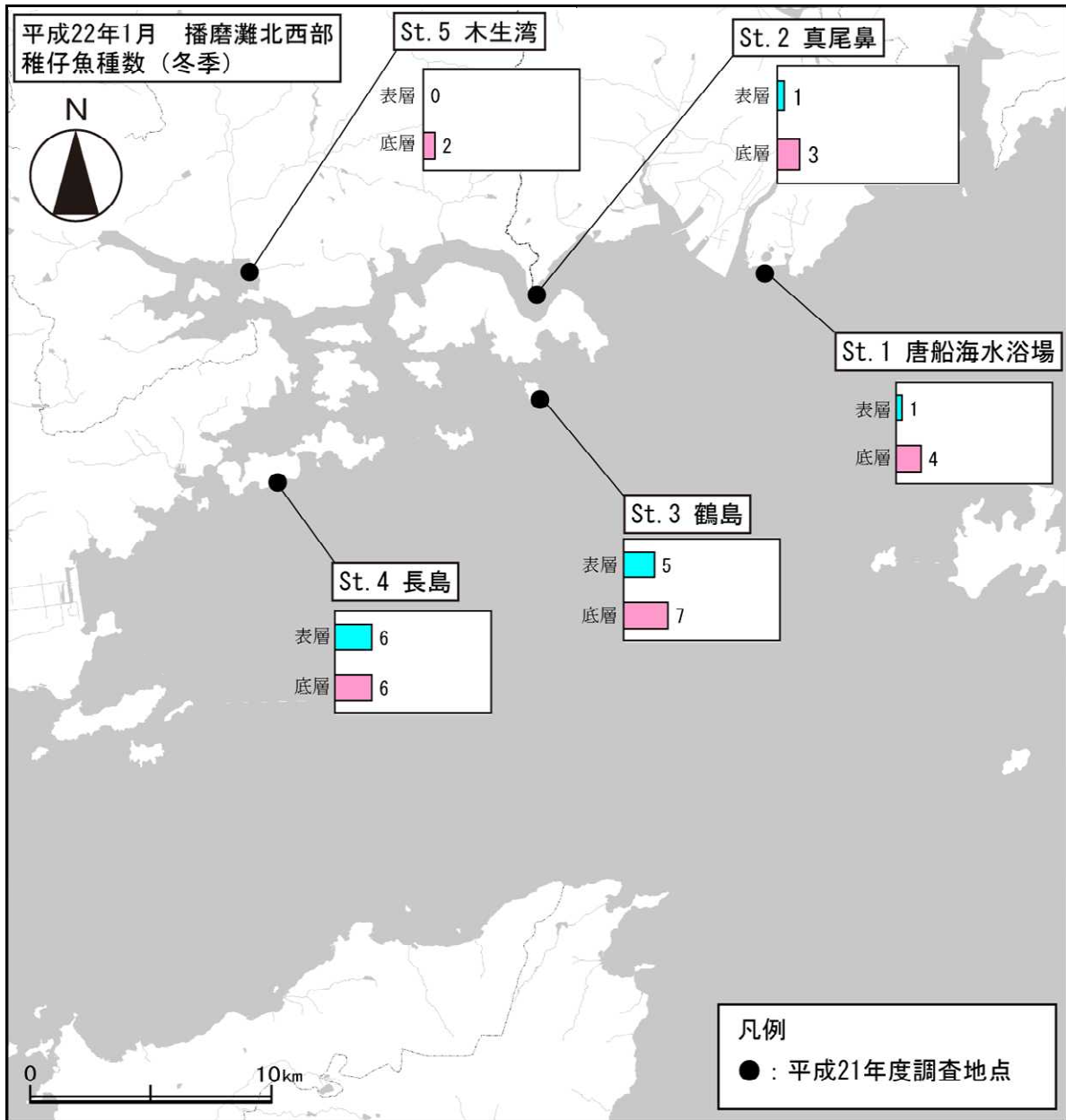
出典：「平成21年度水生生物類型あてはめに係る生物生息状況調査業務 報告書」により作成

図 1.10(4) 魚卵個体数の出現状況 (冬季)



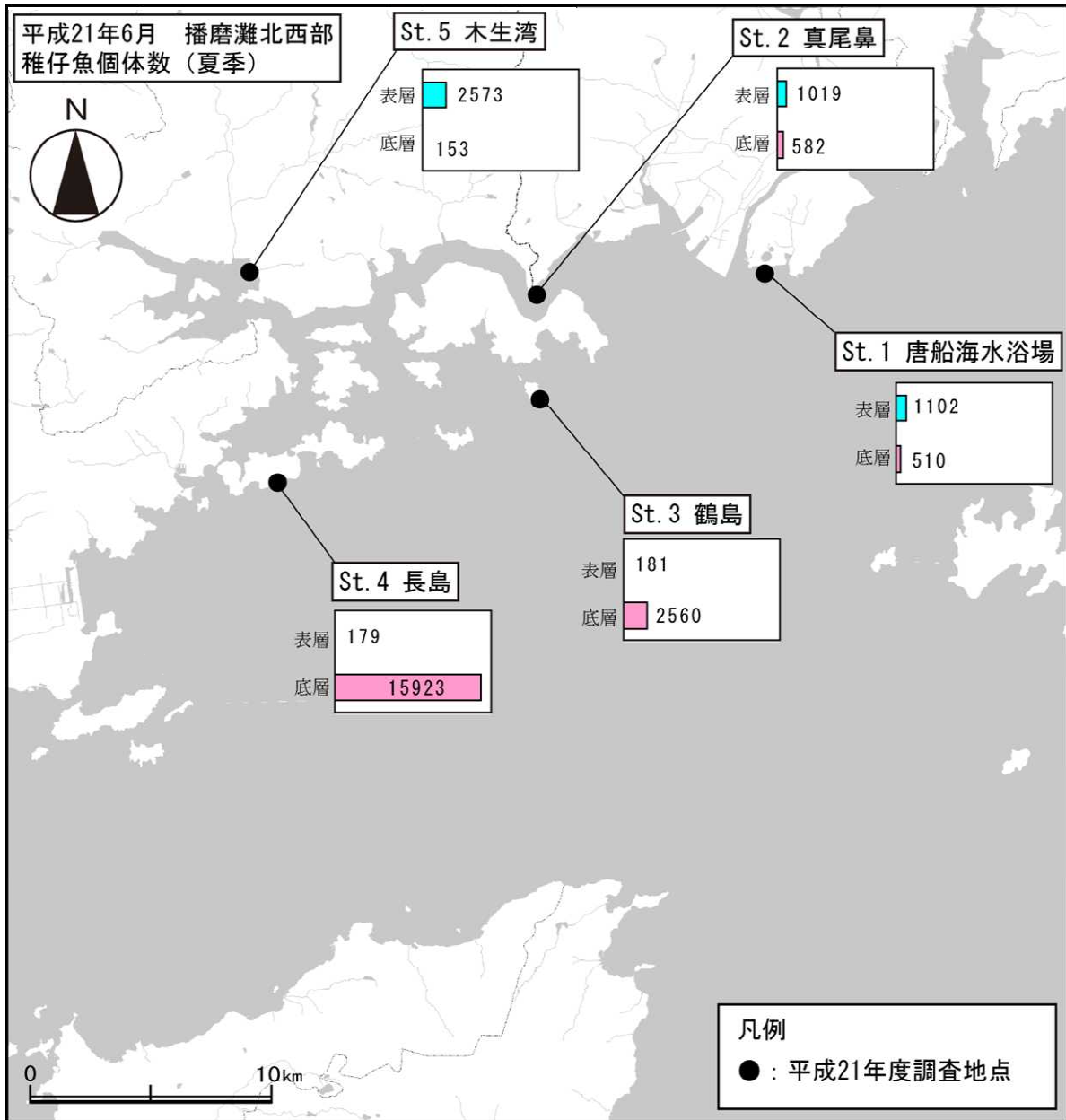
出典：「平成21年度水生生物類型あてはめに係る生物生息状況調査業務 報告書」により作成

図 1.10(5) 稚仔魚種数の出現状況 (夏季)



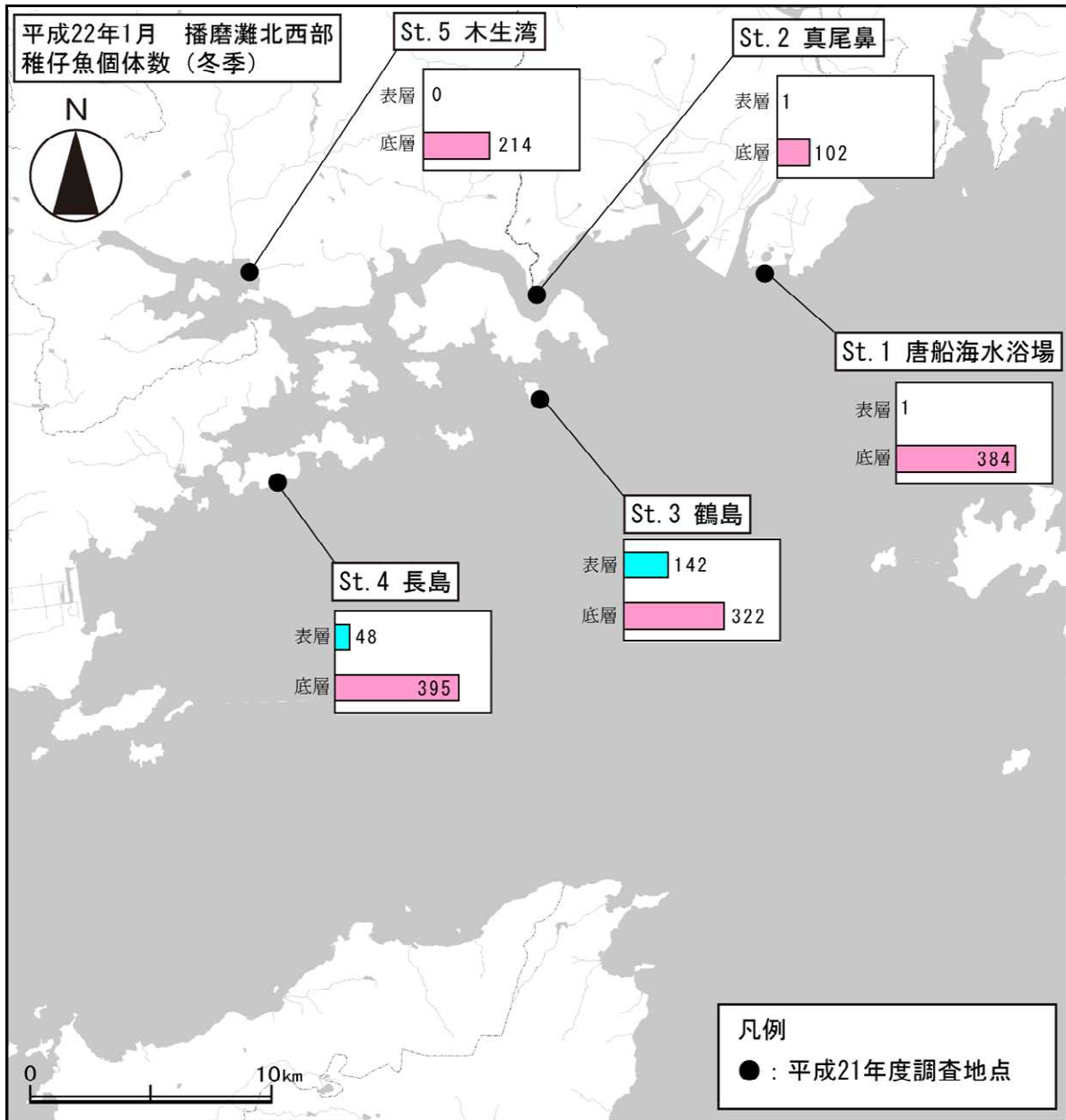
出典：「平成21年度水生生物類型あてはめに係る生物生息状況調査業務 報告書」により作成

図 1.10(6) 稚仔魚種数の出現状況 (冬季)



出典：「平成21年度水生生物類型あてはめに係る生物生息状況調査業務 報告書」により作成

図 1.10(7) 稚仔魚個体数の出現状況 (夏季)



出典：「平成21年度水生生物類型あてはめに係る生物生息状況調査業務 報告書」により作成

図 1.10(8) 稚仔魚個体数の出現状況 (冬季)